

六年生の皆さん、座ってください。

職員を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

二十八名の六年生の皆さん。卒業おめでとう。この六年間、うれしいことや悲しいこと、楽しいことやつらいこと、いろいろなことがあったと思いますが、いろいろな経験をして、心も体も大きく成長しました。特にこの一年間は、分団や縦割り班活動、委員会や児童会、そして学校行事で後輩たちを引っ張ってくれてありがとうございます。頼りになる、すばらしい先輩でした。

ご家族の皆さま。本日は、ご卒業、誠におめでとうございます。六年間、学校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。特に三年生から五年生にかけては、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校のいろいろな活動が中止や規模の縮小、時期の変更などを余儀なくされ、大変ご迷惑をおかけしました。そんな中でも、子どもたちが毎日元気に、安心して登校できるように、心や体の健康に配慮していただいたと推察します。本当にありがとうございます。

ご来賓の皆さま、本日はお忙しい中、お越しくださり本当にありがとうございます。高い席からではございますが、お礼申し上げます。皆様方のおかげで、子どもたちは、無事卒業の日を迎えることができました。今後も、それぞれのお立場で、子どもたちを見守っていただければ幸いに存じます。

さて、六年生の皆さん。今日、小学校生活最後の日に、皆さんに贈りたい言葉は、「出会いを大切に」です。

私自身、今までに実にたくさんの人と出会ってきましたが、「出会い」とは「偶然」とも言えるし、「奇跡」とも「運命」とも言える、本当に不思議なものだなあと感じています。

例えば、今皆さんの周りに座っているクラスメイト、この人たちと出会ったのは単なる偶然かもしれません。でも、考えようによっては、これは奇跡的なことなんです。もし、あなたやクラスメイトが何ヶ月か早く、または遅く生まれていたら、その人はこのクラスの一員になることはありませんでした。もし、浮野小学区に住んでなければ、その人は浮野小学校という名前すら知らなかったかもしれません。今、地球の人口は約八十億人です。八十億人の中からたまたま出会った人たち、それが今皆さんの回りにいる人たちです。これはもう、単なる偶然ではなく、奇跡や運命と言ってもいいのではないのでしょうか。

奇跡的な出会いは他にもあります。もしあなたのお父さんとお母さんが、八十億人の中から運命的な出会いをしなければ、あなたはこのクラスにいないどころか、この世に生まれてさえいません。さらに、おじいさんたちやおばあさんたちも、同じように出会ってなければ、お父さんもお母さんもあなたも、みんなこの世に生まれてません。そう考えていくと、この世の中は、いくつもの偶然が奇跡的に重なってできていくという気がします。ちなみに、この地球という星ができて、そこに生き物が誕生したのも、ものすごい数の偶然が重なった結果で、奇跡としか言いようがないそうです。

ちょっと話のスケールが大きくなり過ぎてしまいましたが、「出会い」というものを考えていくと、それはもう、「奇跡」とか「運命的」だとしか言いようがない気がします。「出会い」というのは偶然などではなく、すべて運命なんだ」と言う人もいます。あなたがこのクラスメイトと出会ったのは、偶然ではなく、前から運命として決まっていた、という考え方です。ちょっと不思議な感じもしますが、世の中が奇跡的な出会いの積み重ねでできていることを考えると、確かにそうなのかもしれません。何より、この出会いが偶然だったのか、運命だったのか、それを確かめる方法はどこにもありません。人生は一度切りしかないし、タイムマシンで過去に戻ることもできないからです。

だから皆さんには「出会い」を大切にしておいてほしいと思います。四月には、ほとんどの人が、初めてのクラス替えを経験します。その後も高校、大学、仕事と、出会いの機会はどんどん増えていきます。楽しくわくわくするような出会いも、あまりうれしくない出会いも、もちろん何も感じない出会いもたくさんあると思います。でも、その人たちはずべて、八十億人の中から、奇跡的、運命的に出会った人たちです。あなたと出会ったことに、必ず何か意味があるはずです。何も関わろうとしないのはもったいないです。自分らしく素直な気持ちで接して、あなたのことを知ってもらったり、相手のことを理解したりしてほしいと思います。

また、家族や友達など、普段当たり前に一緒にいる人たちも、奇跡的な出会いがなければ、今一緒にいることはなかったのだということをお忘れずに、大切にしておいてほしいと思います。時には、「ありがとう」「ごめんなさい」など、素直な気持ちを、声に出して伝えてほしいです。さらに、「出会い」は人間だけに限ったことではありません。新しい勉強との出会い、新しい行事や部活動との出会い、趣味や仕事との出会いもあります。それらの出会いを「チャンス」と考えて、自分から積極的にチャレンジすれば、必ず何かプラスになることがあるはずです。

皆さんが「出会い」を大切にしておいて、周りの人を大切にしておいて、周りの人からも大切にされ、幸せな人生を歩んで行くことを、いつまでも願っています。

以上でお祝いの言葉とさせていただきます。

令和六年三月十九日

名古屋市立浮野小学校長

宇佐見 康